

令和4年度

事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

公益財団法人 浜松国際交流協会

目次

事業実施の背景と取り組み	3
事業報告 多文化共生のまちづくり	
1. 相談事業	5
①外国人市民のための多言語生活相談（市委託：国際課 「多文化共生総合相談ワンストップセンター事業」）	
②入管ワンストップ型相談コーナーの運営（他機関連携事業）	
③出張相談（市委託：国際課 「多文化共生総合相談ワンストップセンター事業」）	
④法律相談（市委託：国際課 「多文化共生総合相談ワンストップセンター事業」）	
⑤行政書士相談（市委託：国際課 「多文化共生総合相談ワンストップセンター事業」）	
⑥在留支援相談（市委託：国際課 「多文化共生総合相談ワンストップセンター事業」）	
⑦税務相談（市委託：国際課 「多文化共生総合相談ワンストップセンター事業」）	
⑧年金相談（市委託：国際課 「多文化共生総合相談ワンストップセンター事業」）	
⑨中国残留邦人支援事業（市委託：福祉総務課）	
⑩メンタルヘルス相談（市委託：精神保健福祉センター）	
⑪外国人雇用相談（市委託：産業振興課）	
⑫ソーシャルワーク研修（市委託：国際課 「多文化共生総合相談ワンストップセンター事業」）	
⑬ウクライナ避難民支援（市委託：国際課）★新規	
⑭通訳派遣（自主事業）	
2. 日本語学習支援事業	11
①日本語学習等支援者養成講座（市委託：国際課 「外国人学習支援センター事業」）	
②地域日本語学習支援事業（市委託：国際課 「外国人学習支援センター事業」・自主事業）	
③浜松市における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業（市委託：国際課）★重点	
④外国人学校への日本語教師派遣（市委託：国際課 「外国人学習支援センター事業」）	
3. 外国につながる次世代支援事業	19
①外国人の子どもの不就学ゼロ作戦（市委託：国際課）	
②定住外国人の子どもの就学促進（市委託：国際課）	
③外国にルーツを持つ青少年のキャリア支援事業（市委託：国際課 「外国人学習支援センター事業」）	
4. 多文化防災事業	26
①外国人防災リーダー養成研修（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）	
②災害時多言語支援センター設置訓練（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）	
③災害時に備えたネットワークの強化（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）	
④災害・防災情報の提供（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）	
⑤多言語による緊急情報提供体制づくり推進事業（市委託：国際課）	

グローバル感覚に優れた人づくり

1. 地域共生事業（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」） 29
 - ①各地域への個別支援
 - ②地域共生自治会会議
2. 多様性を生かしたまちづくり事業 29
 - ①はままつ多文化共生 MONTH(月間)事業（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）
 - ②文化・スポーツ紹介（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）
 - ③地域活性化事業（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）
 - ④多文化フェスタの運営（市負担金：国際課 多文化フェスタはままつ実行委員会事務局）★新規
 - ⑤浜松市外国人材活躍宣言事業所認定事業（市委託：国際課）
3. グローバル人材の育成と活用 31
 - ①地球人教育出前講座及びコーディネート（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）
 - ②グローバル人材セミナー（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）
 - ③国際理解教育講座（自主事業）
 - ④第13回はままつグローバルフェア（自主事業）
 - ⑤コミュニティ・エンパワメント（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）
 - ⑥多文化体験・交流事業（市委託：国際課 「外国人学習支援センター事業」）
 - ⑦ブリッジビルダー育成（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）
4. 国際交流・国際理解事業 37
 - 1) 外国語講座
 - ①国際交流のための外国語講座（自主事業）
 - ②国際交流のための外国語サロン（自主事業）
 - 2) 交流イベント(自主事業)
 - ①世界を知ろう！異文化理解講座
 - ②寸劇「ブラジル×日本 融和のあゆみ」
 - ③アフガニスタン理解セミナー★新規
 - ④はままつサステナブル・コミュニティ★新規
 - ⑤大好きなあの歌を英語で歌おう★新規
5. 担い手の育成：ボランティア活動支援事業（自主事業） 39
 - ①HICE ボランティアバンクの運営
 - ②バディ・ボランティア活動★新規
6. 担い手の支援：国際交流活動支援事業 40
 - ①多文化共生・国際交流推進事業費助成金の交付（市補助金：国際課）
 - ②天竜地域事業（市委託：国際課 「外国人学習支援センター」・自主事業）
 - ③セミナールームの活用（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）
 - ④多文化共生・国際交流活動支援事業（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）
7. 情報収集・提供事業 41
 - ①機関紙 HICE NEWS の発行（自主事業）
 - ②「はままつ多文化共生・国際交流ポータルサイト HAMAPO」の運営（市委託：国際課・自主事業）
 - ③Facebook の運用（市委託：国際課・自主事業）
 - ④Instagram の運用（市委託：国際課・自主事業）
 - ⑤HICE info メールによる情報配信（自主事業）

事業実施の背景と取り組み

2022年3月のロシアによるウクライナ侵攻により、ウクライナから大量の避難民が発生している。多くは隣国ポーランドを始めヨーロッパ各国に避難をしているが、日本政府も受け入れを表明したことにより、2023年3月末現在で累計2,372人が日本国内へ避難してきている。これまで、浜松市には14名の方々が避難し、3月末現在で9名が住民登録をして避難生活を継続している。当協会では浜松市から委託を受けて市内のウクライナ避難民の生活支援を全面的に行ってきた。戦況の行方が不透明な中、避難生活が長期化しており、引き続きの支援も望まれている。

また、2022年度は新型コロナウイルス対策を講じながらも、少しずつ社会活動が再開された年であった。留学生や技能実習生等の受け入れも徐々に再開されるとともに、技能実習制度については政府の有識者会議が、制度の在り方について検討を進めている。日本語教育分野においては、国家資格としての「登録日本語教員」の設置が検討されている。その他、入管法の改正や外国人支援コーディネーター（仮称）の養成が検討されるなど、様々な動きが活発化している。

浜松市においては、名称をサンバフェスティバルからフェスタ・サンバに変えながらも20年ほど続いてきたサンバ関連事業に代わり、多文化フェスタが試行的に開催され、当協会が実行委員会の事務局を引き受けて実施した。それは、外国人住民に占めるブラジル国籍者の割合が相対的に減少し、フィリピンやベトナムなど様々な国籍の存在感の高まりを反映するものであった。

当協会における事業も、引き続き新型コロナ対策を講じながらも、オンラインと対面のそれぞれのメリットを活かしながら行った。試行的に始めた外国人市民・日本人市民同士の交流事業バディ活動は原則として対面で様々な人が出会う場として大きな盛り上がりを見せた。SDGsをテーマとした新しい活動「はままつサステナブルコミュニティ」も今後の可能性を感じるものであった。

その他、外国人雇用サポート事業は3年目を迎え、留学生の就職支援を中心に着実に成果をあげている。外国人住民を防災リーダーとして養成する事業については、外国人住民の自主的な活動として定着してきている。

地域日本語教育については、2019年度より国が地方自治体に対し、地域における日本語教育体制づくり事業に対し補助金を助成するようになり、浜松市は2019年度より採択を受けている。2022年度は、浜松市における地域日本語教育体制づくりの第一段階の最終年度として、500人の在住外国人に対し、日本語能力の実態調査及び日本語使用状況調査を行った。また、それに基づき、浜松市地域日本語教育推進アクションプランが策定された。本アクションプランでは、第3次浜松市多文化共生都市ビジョンと足並みをそろえ、浜松市地域日本語教育モデルプログラムの他、今後5年間にわたるロードマップが策定されている。その他、「やさしい日本語」の普及事業にも力を入れており、その取組が出入国在留管理庁と文化庁による「別冊 やさしい日本語の研修のための手引」に掲載されている。

以上、2022年度を総括すると、ウクライナ避難民支援という緊急的な活動が追加されたが、予算・人員ともに追加を受けて実行することができ、それ以外は新型コロナウイルス感染症と共存しながらおおむね計画通りに実行され、それぞれの事業で深度が深まったと言えよう。

公益 1 多文化共生のまちづくりと グローバル感覚に優れた人づくり

多文化共生のまちづくり

【重点】相談事業 p. 5

多言語生活相談、ワンストップ相談、出張相談、法律相談、行政書士相談、
税務相談、年金相談、中国残留邦人支援、メンタルヘルス相談、ソーシャルワーク研修、
通訳派遣

【重点】日本語学習支援事業 p. 11

日本語教室、支援者養成講座、教職員多文化共生講座、地域日本語学習支援
浜松市における地域日本語教室の総合的な体制づくり推進、外国人学校日本語教師派遣

外国につながる次世代支援事業 p. 19

外国人の子どもの不就学ゼロ作戦、定住外国人就学支援教室、キャリア支援

多文化防災事業 p. 26

外国人防災リーダー養成研修、災害時多言語支援センター設置訓練、災害・防災情報の提供

グローバル感覚に優れたひとづくり

地域共生事業 p. 28

各地域への個別支援、地域共生自治会会議

多様性を生かしたまちづくり事業 p. 28

多文化共生 MONTH、文化・スポーツ紹介、地域活性化事業
多文化フェスタの運営、外国人材活躍宣言事業所認定

グローバル人材の育成と活用 p. 31

地球人教育出前講座、グローバル人材セミナー、国際理解教育講座、コミュニティ・エン
パワメント、グローバルフェア、多文化体験、ブリッジビルダー育成

国際交流・国際理解事業 p. 37

外国語講座、交流イベント、寸劇「日本×ブラジル融和のあゆみ、アフガニスタン理解
セミナー、はままつサステナブル・コミュニティ

地域創造の担い手の育成と支援 p. 39

ボランティアバンクの運営、助成金交付、バディ・ボランティア活動

【重点】情報収集・提供事業 p. 41

HICE NEWS、Facebook、Instagram、メール配信、情報カウンター
はままつ多文化共生・国際交流ポータルサイト HAMAPO の運営

多文化共生社会の推進

多文化共生センター

外国人学習支援センター

事業報告

多文化共生のまちづくり

1. 相談事業

①外国人市民のための多言語生活相談（市委託：国際課 「ワンストップセンター事業」）（7,117 件）

■言語別件数内訳

（件）

言語	曜日	時間	相談件数
ポルトガル語	毎日	9:00～17:00	1,967
スペイン語	土	13:00～17:00	202
フィリピン語	火・木・土	13:00～17:00	647
中国語	土曜日	13:00～17:00	123
ベトナム語	火・木・土	13:00～17:00	183
インドネシア語	土曜日	13:00～17:00	0
英語	月曜日～金曜日	13:30～16:30	755
日本語	毎日	9:00～17:30	3,218
その他			22
合計			7,117

■問い合わせ手段

（件）

来訪	電話	その他（手紙、メール等）	合計
1,259	3,203	2,655	7,117

■内容別件数内訳

（件）

内容	件数	内容	件数
入管手続	189	日本語学習	148
雇用・労働	2,866	防災・災害	13
社会保険・年金	142	住宅	18
税金	245	結婚・離婚・DV	190
医療	217	交通・運転免許	90
出産・子育て	69	通訳・翻訳	276
子どもの教育	83	その他*	2,571
合計		7,117	

*その他は、金融、人間関係等が含まれる

②入管ワンストップ型相談コーナーの運営（他機関連携事業）（161 件）

入国管理局との連携で専門相談の窓口を開設。

毎週水曜日 9:00～12:00、13:00～17:30 相談件数：延べ 161 件

③出張相談（市委託：ワンストップセンター事業）

- ・4月12日、14日、22日：ブラジル、ベトナム、フィリピンの店舗を訪問
- ・5月25日：ブラジルレストラン O Baiano において社会労務士による講習会
- ・5月19日、6月16日：ベトナム、フィリピンの店舗訪問
- ・10月23日：ブラジル・ユニバーサルチャーチを訪問（防災講習会 150 人）

④法律相談（市委託：国際課 「ワンストップセンター事業」）（101 人）

弁護士による法律相談

毎月最終木曜日、土曜日 計 22 回開催

相談者数 延べ 101 人

協 力 静岡県弁護士会浜松支部、関東弁護士連合会（11月の拡大法律相談）

⑤行政書士相談（市委託：国際課 「ワンストップセンター事業」）（38人）

行政書士による相談

毎月木曜日および土曜日 計 22 回開催

相談者数 延べ 38 人

協 力 静岡県行政書士会西遠支部

⑥在留支援相談（市委託：国際課 「ワンストップセンター事業」）（23人）

審査管理部門在留支援による相談

毎月木曜日第一木曜日 計 12 回開催

相談者数 延べ 23 人

協 力 名古屋出入国在留管理局

⑦税務相談（市委託：国際課 「ワンストップセンター事業」）（80人）

日 時 令和 5 年 1 月 28 日（土）9：30～16：30

令和 5 年 2 月 4 日（土）9：30～16：30

内 容 外国人を対象に、通訳（ポルトガル語、フィリピン語、スペイン語、英語）をつけてスムーズに確定申告が行えるよう支援した。

参加者 相談者 80 人、スタッフ・通訳 4 人、税理士 10 人

協 力 東海税理士会浜松西支部

⑧年金相談（市委託：国際課 「ワンストップセンター事業」）（21人）

日 時 令和 4 年 7 月 9 日（土） 13：00～16：00

令和 4 年 11 月 24 日（木） 13：00～16：00

内 容 免除申請方法、将来もらえる年金額など

参加者 相談者 21 人

協 力 東・西年金事務所

⑨中国残留邦人支援事業（市委託：福祉総務課）（146件）

中国在留邦人とその配偶者で、世帯の収入が一定の基準に満たない者に対し生活支援費を給付する際の業務補助、相談、通訳等の支援のための相談員を配置した。

日 時 週 3 日 13：00～17：00（94日）

配置場所 市内区役所（中、南、東）

相談員 1 人

相談内容 病院にかかる際の言葉の心配、介護サービス申請の支援、子弟の教育や就職など

相談件数 延べ 146 件

対 象 8 世帯 10 人

⑩メンタルヘルス相談（市委託：精神保健福祉センター）

心理士 2 人を配置し、ポルトガル語でのメンタルヘルス相談及び精神科等への同行通訳を行った。

■メンタルヘルス相談（478件）

日 時 週 5 日 9：00～17：00 週 2 日（火・金）は 13：00～20：30

件 数 延べ 478 件（カウンセリング 414 件、相談 64 件）（前年度 409 件）

[カウンセリング 414 件の内訳]

相談者実数	146 人
新規	104 人
継続	383 人
出身国	ブラジル人 381 件 (92%)、ペルー人 33 件 (8%)
年齢	大人 345 件 (83%) 子ども 69 件 (17%)
時間帯	昼間 332 件 夜間 82 件

- 内 容
- ・2022 年は、新型コロナウイルス感染症が緩和され、メンタルヘルスへの影響も軽減したが、生活費の上昇等により、全体的に生活の質に影響を及ぼし、経済状態が好ましくな
ないことから多くの問題が発生した。
 - ・基本的な出費（住宅、食費、交通費など）の支払いが難しくなり、緊急事態（事故、失
業、病気など）への対応がパニックの原因となっている。さらに、レジャー、レクリ
エーション、社交の機会が減少した。
 - ・心の健康は、社会生活、経済や職業、恋愛関係など、私たちの生活に存在するさまざま
な要素のバランスによって達成される。しかし、常に経済的問題に悩まされ、睡眠や食
生活の習慣が乱れ、思考や感情の安定まで変えてしまい、ストレスと不安の引き金と
なっている。

- 課 題
- ・早くに結婚し、子どもにも恵まれたが、多くの若いカップルが別居や離婚をしている。
青春時代を再体験したいという新たな情緒的関係への過度な願望への対処
 - ・失明等の身体に障害を持った方などの新しい境遇や環境に対する不安の払拭
 - ・養子であるためのコンプレックスやアイデンティティと価値観に問題を抱えている方、
家族不和の中で子育てをしないといけない方などの対人関係や生活に対する不安の払拭

■通訳派遣 (393 人)

ポルトガル語通訳派遣 延べ 323 件 (依頼数 358 件、うちキャンセル 35 件) (前年度 292 件)

少数言語通訳派遣 延べ 70 件 (依頼数 90 件、うちキャンセル 20 件)

(フィリピン語 69 回、ベトナム語 4 回、英語語 6 回、インドネシア語 9 回、中国語 2 回)

- 内 容
- ・今年度の新規ケース数は前年度と同じだった。性別や大人と子どもの数もほぼ同じで
あった。
 - ・子どもに関しては小学校にあがる前の年齢（2 歳～5 歳）が一番多く、主な訴えは言
葉の遅れや多動等が目立った。
 - ・大人は 30 代が最も多く、母国で精神疾患の診断を受けている方と日本で初めて病気が
発症したケースがあった。
 - ・入院患者は 4 名で、1 名については入院から退院までの 2 か月間弱で 9 回の同行通訳依
頼があった。コロナの関係で家族とは電話で対応した。
 - ・年度末（3 月）には新規患者数が 7 名と非常に多かった。新規の時はドクターの受診前
に問診票記入や相談員との面談があるため、同行通訳時間が長めであった。
 - ・昨年度はキャンセル数が 69 回と最も多かったのに比べ、今年度は減少して 35 回だっ
た。
 - ・発達医療機関へ子どもの受診で来た保護者の中には幼児期に来日した方や日本で生まれ
育った方も見えるようになった。日本語が十分通じた場合、本人とドクターの同意によ
り同行通訳を 1 回で終了することもあったが、困った時は通訳を依頼してもよいと伝え
るようにした。

- 課 題
- ・ドクターの受診時通訳以外に心理検査、患者やその家族と臨床心理士の面談、カウンセ
リング、特別児童扶養手当の手続き、障害者年金手続き等の通訳が増えた。受診時だけ
の通訳にくらべて時間がかなり長くなるため、同じ日に数多く対応ができない。
 - ・受診のキャンセル、日程変更、書類手続きに関して患者より直接 H I C E へ連絡してく
ることもあるが、病院や他の機関に問い合わせをしないといけないのですぐに解決でき
ないこともある。
 - ・同行通訳の予定がほぼ毎日入っているため、突然調子がわるくなり、すぐ受診したいと
の要望には対応できないこともある。

■発達に困難を抱える外国人の子どもと保護者の支援者向け研修会（45人）

■少数言語通訳者養成講座（22人）

【第1回～4回】

日時 7月2日（土）13:30～15:00「発達障がい知識は、どの程度必要か？」
 7月2日（土）15:30～17:00「困っていることを、皆さんで共有しましょう」
 11月26日（土）13:30～15:00「子どものメンタルヘルス支援の基礎」
 11月26日（土）15:30～17:00「事例検討」

講師 鈴木 牧氏（小児科・児童精神科）
 土屋 賢治氏（浜松医科大学子どもこころの発達研究センター 特任教授・精神科医）

参加者 ①一般支援者：延べ45人（言語：日本語14人 ポルトガル語18人 スペイン語5人
 英語4人 ベトナム語2人 インドネシア語2人）
 ②少数言語通訳者の候補者：延べ22名（言語：中国語8人 フィリピン語4人
 英語4人 ポルトガル語2人 ベトナム語2人 インドネシア語2人）
 合計67人（7月2日33人、11月26日34人）

■メンタルヘルスに関する啓発講習会（小集団活動）（4人）

テーマ「自己認識」

日時 3月14日（火） 16:30～18:00

場所 多文化共生センター

参加者 ブラジル人 4名

内容 心理オリエンテーション、参加者の体験談、テーマディスカッション

■ブラジル人託児所児童の保護者に対する養育能力向上のための講習会（29人）

日時	対象託児所	参加者数
5月26日（木）9:00～11:00 指導者向け研修	ラピス・デ・コル	指導者5名
9月17日（土）13:00～16:00 保護者向け研修会	ラピス・デ・コル コレジオ・アルテルナチバ	保護者15名
12月6日（火）9:30～11:30 指導者向け研修	コレジオ・アルテルナチバ	指導者4名
12月21日（水）9:00～11:00 指導者向け研修	ラピス・デ・コル	指導者5名
<p>指導者向け研修会 内容：就学前の子育て支援事業に引き続き、ブラジル人託児所へメンタルヘルス専門家（心理分析士・幼児教育専門家ヴァンデル・ルイス・デビデ氏）を派遣。ブラジル人託児所の指導者が子どもへの指導に関する悩みや職員間のことも含めアドバイスを受けた。 成果：この事業を始めた時は教育免許を取得している職員は一人だったが、現在は2箇所の託児所には教育免許を持っている職員は9割に上がった（ブラジル人学校から転職）。</p> <p>保護者向け研修会 講師：ヴァンデル・ルイス・デビデ氏（心理分析士・幼児教育専門家） パトリシア・ガルシア氏（プロジェクト・チョウチョウ代表） 内容：社会生活に必要なスキルとは・幼児期の発達について・6歳までの育つ環境や保護者などの関わりの影響について・子どもの「脳の発達」について 成果：予想以上に参加者が集まった。アンケートによる評価は「非常に良い」が最も多かった。「同様なテーマを頻繁に行ってほしい」との声もあった。</p>		

⑪外国人雇用相談（市委託：産業振興課）（94人 39企業）

浜松地域の産業を担う人材・労働力を確保するため、市内企業等を対象に外国人労働者の受け入れに関する相談及び外国人の就労に関する相談窓口を設置し、求人と求職のマッチングを行った。

相談員 3人

■全体件数

(人)

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	～R3実績	事業累計R2～R4
相談件数	149	202	257	252	337	253	336	252	188	206	203	222	2,857	-	-
新規求職登録者数	8	8	9	6	6	12	10	5	11	10	5	4	94	260	354
紹介件数	2	6	3	6	8	6	8	6	2	11	3	7	68	119	187
内定件数	0	2	1	2	2	1	0	0	0	4	0	8	20	41	61
新規求人企業登録数	7	2	3	4	4	6	4	1	1	2	4	1	39	103	142

■採用件数（20人）の内訳

雇用形態	人数
正社員	15
パート (無期雇用)	5
計	20

性別	人数
男	10
女	10
計	20

年代	人数
20代	13
30代	5
40代	2
50代	0
60代	0
計	20

国籍	人数
インドネシア	1
中国	2
バングラデシュ	2
トルコ	1
ベトナム	2
イギリス	1
ポーランド	1
ネパール	2
イタリア	1
ペルー	1
ナイジェリア	1
インド	2
タイ	1
スーダン	1
アフガニスタン	1
計	20

職種	人数
専門的・技術的職業従事者	15
サービス職業従事者	5
計	20

業種	人数
製造業	10
サービス業	2
教育	3
運輸業	1
情報通信	2
コンサルティング	1
小売業	1
計	20

採用前在留資格	人数
永住者	2
定住者	0
留学	9
特定活動	1
技・人・国(※)	3
家族滞在	2
日本人の配偶者等	2
なし(海外)	1
計	20

(※) 技・人・国・・・「技術・人文知識・国際業務」

■採用件数（20人）の内訳

	性別	年代	国籍	業種	職種	雇用形態	採用前在留資格	採用後在留資格	現在の状況
1	女	20代	インド	製造業	設計・研究	正社員	技人国	技人国	
2	男	40代	インドネシア	運輸業	トラック運転手	正社員	永住者	永住者	
3	女	30代	ポーランド	教育	英会話講師	パート	家族滞在	家族滞在	
4	男	20代	英国	製造業	海外営業	正社員	日本人の配偶者等	日本人の配偶者等	
5	男	30代	アフガニスタン	製造業	機械設計	正社員		特定活動	内定後、本人都
6	女	30代	中国	情報通信	ソフトウェアエンジニア	正社員	家族滞在	技人国	R5/11月1日入社後退社
7	男	30代	トルコ	サービス	調理補助	パート	留学	留学	
8	女	20代	ベトナム	教育	講師	パート	留学	留学	
9	男	40代	イタリア	コンサルティング	設計・研究	パート	日本人の配偶者等	日本人の配偶者等	本人希望により正社員登用有
10	女	20代	ペルー	サービス	作業員	正社員	永住者	永住者	R5/3月3日付退社済
11	男	20代	インド	教育	英会話講師	パート	留学	留学	
12	女	20代	ネパール	製造業	ソフトウェア	正社員	留学	技人国	在留資格切替後
13	男	20代	ナイジェリア	製造業	研究開発	正社員	特定活動	技人国	在留資格切替後
14	女	30代	中国	製造業	ソフトウェア	正社員	技人国	技人国	
15	男	20代	バングラデシュ	情報通信	ソフトウェア	正社員	留学	技人国	
16	男	20代	ネパール	製造業	設計・研究	正社員	留学	技人国	
17	女	20代	スーダン	製造業	設計・研究	正社員	留学	技人国	
18	女	20代	タイ	小売	営業	正社員	留学	技人国	
19	女	20代	ベトナム	製造業	営業	正社員	留学	技人国	
20	男	20代	バングラデシュ	製造業	設計・研究	正社員	技人国	技人国	

⑫ソーシャルワーク研修（市委託：ワンストップ事業）（90人）

内 容 市や各機関・企業等の通訳や相談員が、多種多様な通訳場面や相談に対応するために専門的知識を習得し、外国人市民の生活支援にあたるためのノウハウや心構えを学ぶ研修を行った。

対 象 各機関で外国人の通訳や相談にあたるバイリンガル人材、外国人支援者

（ブラジル、ペルー、中国、フィリピン、インドネシア、日本、ベトナム）

日時	テーマ	講師	参加者数
7月5日（火）14時～16時	生活自立支援について	青木雄大（つながり所長）	8人
7月14日（木）14時30～16時30分	アンガーマネジメントについて	初田美紀子（臨床心理士）	18人

7月26日(火) 14時～16時	消費者トラブルについて	吉松恵子(全国消費生活 相談員協会)	8人
8月2日(火) 14時～16時	DV相談への対応	杉山映子(あいホール相 談室長)	7人
11月19日(土) 10時～12時	子どもの虐待への対応	浜松市児童相談所	24人
12月4日(日) 10時～12時	通訳者の技法	NPO 法人多言語社会リ ソースかながわ	13人
12月8日(木) 14時～16時	在留支援のケース	名古屋出入国在留管理 庁	12人
合計			90人

⑬ウクライナ避難民支援(市委託:国際課 「多文化共生センター事業」)(12人)

概要 2022年3月のロシアによるウクライナ侵攻に伴い避難してきたウクライナ避難民で浜松市に住所を定めた人に対して、スムーズに生活が送れるように、情報提供や生活物資提供、日本語学習機会の提供、交流会の実施等を行った。

対象 累計12名

支援員 8月より1名を配置

⑭通訳派遣(自主事業)

件数 3件 派遣先 聴覚特別支援学校、浜松市内私立高校

2. 日本語学習支援事業

①日本語学習等支援者養成講座(市委託:国際課 「外国人学習支援センター事業」)

■日本語学習支援ボランティア養成講座(502人)

地域における日本語学習支援で必要とされる知識を学ぶボランティア養成講座を開催。

協働団体: はままつ国際理解教育ネット、With U-Net、NPO 法人おおさかこども多文化センター、NPO 法人フィリピンナガイサ、そらの会、KSC 子どもサポーターズクラブ、南の星小放課後勉強室、ゆうさくコミュニティスクール、浜松市教育委員会

全16回/各期 年2期

	期間	受講者
第1期	6月6日～10月3日	延べ254人
第2期	11月11日～3月17日	延べ248人
合計		502人

プログラム: 日本語文法の入口、異文化理解体験、外国語学習体験、浜松市における外国人児童の現状、ボランティア体験実習、やさしい日本語実践体験(U-ToC 日本語教室の学習者と防災訓練を体験)

■日本語ボランティア実地研修(141人)

日本語教室を見学し、他者の活動内容や教授技術を学ぶ。

教室後の振り返りに参加し、参考になった点や気付いた点を述べ技術を高め合う。

見学シートを提出し、他者の教室活動を客観的に評価するとともに自己研鑽に努める。

日本語教室・初級クラス	延べ69人
日本語教室・中級クラス	延べ8人

日本語教室・読み書きクラス	延べ 64 人
合計	延べ 141 人

■日本語学習支援者スキルアップ講座（66 人）

日本語学習支援者を対象とした日本語教育に関する知識を学ぶ講座。全 6 回

回	日時	内容	講師	受講者
1～6	2月7日（火） 2月8日（水） 13:30～18:20	「日本語教育の参照枠」をもとにカリキュラム設計を学ぶ～「生活分野」での活用～	嶋田和子（一般社団法人アクラス日本語教育研究所） 金田智子（学習院大学） 島田めぐみ（日本大学）	66 人
合計				66 人

■教職員多文化共生講座（67 人）

保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教職員（外国人支援者を対象）の夏季集中講座。

協力：浜松市教育委員会「外国人児童生徒指導リーダー研修会」

1, 2, 3 回：8 月 3 日（水）9:15～12:15

4 回：8 月 30 日（火）13:30～16:30

回	時間	内容	講師		受講者
1	9:15～ 9:45	外国人学校（ムンド・デ・アレグリア学校）の見学	松本雅美	ムンド・デ・アレグリア学校	15 人
2	9:55～ 10:55	ブラジルの学校と日本の学校の文化の違い	椎木マリナ	セメンチ パラ オフトゥーロ（外国人保護者の会）	15 人
3	11:05～ 12:15	「ひょうたん島問題」から多文化共生を考える	内山夕輝	公益財団法人浜松国際交流協会（HICE）	15 人
4	13:30～ 16:30	SDGs（持続可能な開発目標）から国際理解を考える	鈴木有紀子	公益財団法人日本ユニセフ協会 学校事業部	22 人
合計					67 人

②地域日本語学習支援事業（市委託：国際課「外国人学習支援センター事業」・自主事業）

■日本語学習支援団体ネットワーク会議

日本語学習支援団体間の情報の共有や共通課題の克服のためにネットワーク会議を開催。

参加者数 17 人「放課後学習支援団体情報交換会」

回	日時	参加団体	参加者
1	3月8日 （水） 14:00～15:30	浜松市教育委員会、浜松国際交流協会、放課後支援団体（そらの会、KSC 子どもサポーターズクラブ、浜名小外国人学習ボランティア、南の星小放課後勉強室、龍の会）	17 人

■地域日本語学習コーディネート業務

養成講座修了生による自主グループの立ち上げを支援するとして「おしゃべりタイム」の支援を行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、今年度の活動も引き続き休止とした。ただし、11 月 15 日（火）に次年度の活動展開を検討するために、活動を試行した（参加者 20 人）。

■日本語学習支援ボランティアコーディネート

日本語ボランティア養成講座修了生の活動支援等 41件

日本語ボランティア養成講座では、修了生を対象に丁寧な活動支援を行ってきた。市内のボランティア団体に養成講座修了生を紹介したり、両者のマッチングに同席したりすることで、修了生がスムーズに活動を始められるようコーディネートした。

■日本語コーディネート（自主事業）

企業への日本語教師募集協力 3件
個人への日本語プライベートレッスンマッチング 1件

■高校生への日本語支援事業（自主事業）

【日本語学習支援教室】

派遣先 静岡県立浜松工業高等学校(定時制) (4月14日～6月9日 計6回。以降は、静岡県教育委員会外国人生徒みらいサポート事業へ引継ぎ)

対象者 4人

派遣者 日本語教師1人

【日本語支援アドバイザー派遣】

派遣先 静岡県立浜松大平台高等学校 (4月18日～令和5年2月28日)

派遣者 HICE 総括コーディネーター1人

■地域における日本語学習支援業務

地域や外国人コミュニティとの連携により、ニーズを踏まえた日本語学習支援教室を開催。

○フィリピン人児童・生徒を対象とした就学支援教室（ハロハロ教室）(748人)

協力 NPO 法人フィリピンナガイサ

会場 南部協働センター

期間	曜日	時間	参加者(延べ)		
			ボランティア	初期適応クラス	寄り添いクラス
5月14日～3月18日 (全30回)	土曜日	13:30～15:30	170人	101人	477人

上半期は依然として新型コロナウイルス感染症拡大の影響による来日制限がある中で、令和3年度と比べると延べ人数で84名増加した。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年の延べ人数が705名であり、感染拡大前を上回る参加人数となった。また、成果のひとつとして、市内に点在しているフィリピン人児童生徒が、仲間同士で集まれる場所＝居場所を提供できたことが挙げられる。来日直後の生徒の多くは浜松市教育委員会が開催する初期日本語指導拠点校の江南教室にも通っており、教室の先生方がハロハロ教室に見学に来てくださったこともあった。江南教室とは別の居場所としてハロハロ教室があることで生徒が安心して学校生活を送れているとの感想をいただいた。

○ベトナム人の子ども学習支援（ティントゥオン教室）(938人)

協力 静岡県ベトナム人協会

会場 三方原協働センター

期間	曜日	時間	参加者(延べ)		
			未就学児	小学生	中学生
5月18日～2月8日 (全35回)	水曜日	18:00～20:00	168人	734人	36人

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いてきたことを受け、対面で行うことを決め、先がどうなるかわからないこともあり、早めに教室を開講した。冬に感染症流行があったものの、一年を通じて対面での学習を続けることができた。小学生への学習支援では、どの学年も宿題を終えてからは、教科書に合わせたドリルなどを用いて理解を促した。また、来日間もない中学生2名が秋

から参加した。ひらがなカタカナの練習から漢字の書き取り、学校の宿題のわからないところを指導した。保護者会では、静岡県ベトナム人協会について知らない保護者が増えたため、山田会長による話や、会長が文化庁長官賞を受賞したことの経緯なども報告した。参加者が多く、部屋いっぱいに保護者が集まった。

○浜北日本語教室（1,219人）

協力 浜北国際交流協会

会場 浜北文化センター

期間	曜日	時間	会場	参加者 (延べ)
4月2日～3月25日 (51回)	土曜日	13:00～16:00	浜北文化センター	1,009人

外国人による日本語学習成果発表会

- ・開催日 令和5年1月29日（土）
- ・会場：浜北文化センター 大会議室
- ・出場者 10人（学生の部6人、一般の部4人）
- ・来場者 約200人 全員に「奨励賞」を授与

③浜松市における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業（市委託：国際課）

浜松市の日本語教育体制の整備・充実を図るため、文化庁事業補助金を活用し、令和元年に策定した日本語教育推進方針を基に令和2年度より地域日本語教育体制のさらなる充実を図ってきた。令和4年度は3年度目の節目として、3年間の事業の振り返りを行い、地域日本語教育アクションプランの検討を進めた。

- 取組1：総合調整会議の設置
- 取組2・3：総括コーディネーター・地域日本語教育コーディネーターの配置
- 取組4：浜松地域日本語学習支援ネットワーク会議の開催
- 取組5：外国人市民を対象とした日本語能力実態調査
- 取組6：地域日本語教育アクションプランの策定支援
- 取組7：大学との連携による日本語教育人材の養成
- 取組8：地域日本語教育の実施
- 取組9：企業と連携した外国人支援者養成（やさしい日本語）
- 取組10：日本語学習支援ポータルサイトの運用

取組1：総合調整会議の設置

構成委員 年間3回開催（2時間×3回）

氏名（敬称略）	所属及び役職
金子和裕	浜松経済同友会事務局長
神吉宇一	武蔵野大学グローバル学部准教授
坂本勝信	常葉大学経営学部教授
澤田直子	浜松市教育委員会指導課教育総合支援センター外国人支援グループ長
嶋田和子（座長）	一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事
丹野清人	東京都立大学人文社会学部教授
柳澤クリスティーナ	セメンチーニャ代表

リビー ジョーセフ マテュー	株式会社フォーシーズンズ外語学院理事長
安間浩	公益財団法人浜松国際交流協会業務執行理事
鈴木三男	浜松市企画調整部国際課長

取組 2・3：総括コーディネーター・地域日本語教育コーディネーターの配置

事業を総括する総括コーディネーターを配置し、NPO、企業、大学らと連携し、浜松市における地域日本語教育体制を整備するため、地域や外国人の特性等に対応した教育プログラムを構想し、地域内の日本語教室への指導・助言等を行う地域日本語教育コーディネーターを配置した。

氏名		所属
内山夕輝	総括コーディネーター 地域日本語教育コーディネーター兼任	公益財団法人浜松国際交流協会
河口美緒	地域日本語教育コーディネーター	
染葉麻愛美		

取組 4：浜松地域日本語学習支援ネットワーク会議の開催

市内の日本語教室開催団体の横のつながりを深めるとともに、担い手のスキルを高めたりするために、ネットワーク会議を行った。令和4年度は地域日本語教育アクションプランの策定に向けて、アクションプラン案について検討した。

開催日時	議題	参加団体数
8月9日(火) 10:00～12:00	・浜松市多文化共生都市ビジョンの改定について ・地域日本語教育推進方針アクションプラン案について	14団体 22人

取組 5：外国人市民を対象とした日本語能力実態調査

外国人市民の日本語能力測定のため、インターネットを使った日本語テスト(J-CAT)を実施した。また、日本語使用に関するアンケートも同時に行った。

対象：浜松市に在住・在勤・在学の外国人 500人に実施

(テストは2人エラー、アンケートは489人が回答)

対象属性：就労者(派遣社員、正社員等)、一般等、中学3年生・高校生(公立校、外国人学校)

分析協力：静岡大学情報学部藤岡伸明准教授、李皓准教授

分析会議：7回実施(9月、10月、11月、1月、2月)

取組 6：地域日本語教育アクションプランの策定支援

地域日本語教育推進方針をより具体的に進めるための、ビジョンや課題、対応策を取りまとめた地域日本語教育アクションプランの策定支援を行った。アクションプランは浜松市多文化共生都市ビジョンの第3次計画期間スタートに合わせ、2023年度から5か年計画を予定している。取組5の外国人市民日本語能力実態調査、浜松市外国人市民の意識実態調査(2021)、及び他都市の事例などを踏まえ、浜松市における日本語教育のモデルコースを作成した。また、より具体的なアクションにするため、KPI項目を作成した。

取組 7：大学との連携による日本語教育人材の養成

日本語教員養成課程等で学ぶ大学生を今後の日本語教育の担い手と捉え、大学及び浜松市の日本語教室と連携して人材養成に取り組んだ。浜松市と常葉大学及び静岡文化芸術大学が締結している包括連携協定を基に、連携教室の開催及び教育実習の場の提供を行った。

■常葉大学(常葉大学連携推進事業)との協働によるICTを活用した授業

天竜日本語教室において、学生ら10名によるオンライン授業を月1回開催した。教師役を担う大学生が県内各地からオンラインで授業を配信した。大学生は教案づくりから実際の授業までを担い、

大学教員 2 名（常葉大学 坂本勝信教授、谷誠司教授）が教授法について指導を行った。教室では、学習成果を披露する場として 12 月に教室内発表会、令和 5 年 2 月に第 13 回はまつグローバルフェアではワクワクドキドキ天竜日本語教室発表会を大学生が主体となり企画し開催した。

回	日時	授業形式	授業テーマ等	参加者数
1	6 月 19 日(日) 10:00~11:30	ハイフレックス	関係性作り（自己紹介・他己紹介）、発表会についての説明他	27 人
2	7 月 24 日(日) 10:00~11:30	ハイフレックス	スピーチ用のトピック決め、聞き返しの表現	27 人
3	8 月 28 日(日) 10:00~11:30	ハイフレックス	スピーチ原稿作り（トピックの深堀）、相づち（感動詞含む）の表現	24 人
4	9 月 25 日(日) 10:00~11:30	ハイフレックス	スピーチ原稿作り（トピックの深堀）	29 人
5	10 月 30 日(日) 10:00~11:30	ハイフレックス	スピーチ原稿作り、発表用スライドに合わせ練習（中間発表）	29 人
6	11 月 20 日(日) 10:00~11:30	ハイフレックス	スピーチ発表とポスター交流の練習	23 人
7	12 月 18 日(日) 10:00~11:30	ハイフレックス・対面	スピーチ発表&ポスター交流	42 人
8	2 月 5 日(日) 10:00~11:30	ハイフレックス	教室内発表会の振り返り、2 月 12 日(日)教室外発表会の練習	18 人
9	2 月 12 日(日) 13:00~15:00	対面	ワクワクドキドキ天竜日本語教室発表会 in 第 13 回浜松グローバルフェア	62 人
10	3 月 5 日(日) 10:00~11:30	オンライン	教室外発表会振り返り、R4 年度 ICT 授業の振り返り（アンケート）	22 人

授業形式は主にハイフレックス（Hybrid-Flexible）形式を用いて対面型+同期双方型のオンライン授業を行った。天竜日本語教室の学習者、日本語ボランティア、運営者（HICE）は教室に集まり、常葉大学の学生と教員は自宅などからオンライン会議システム（Zoom）を使い参加した。

■静岡文化芸術大学との協働による日本語教員養成課程教育実習の実施

浜松市外国人学習支援センター（U-ToC）において、学生 2 名による実習を 1 ヶ月間開催した。教師役を担う大学生は授業見学、模擬授業、授業登壇を行った。大学生は教案づくりから登壇、報告までを担い、大学教員（静岡文化芸術大学 福永達士准教授）が教授法について指導を行った。

実習期間	令和 4 年 10 月 14 日～11 月 16 日	
人数	大学生 2 名（静岡文化芸術大学） 担当教員：福永達士先生（文化政策学部国際文化学科准教授）	
教室	U-ToC 初級クラス	
内容	10 月 14 日（金）	オリエンテーション&ひらがなカタカナ授業見学
	10 月 14 日（金）、21 日（金）	模擬授業（30 分×2 人）
	10 月 21 日（金）	できる日本語（初級）授業見学
	10 月 26 日（水）	授業登壇（30 分×2 人）
	11 月 2 日（水）	授業登壇（60 分×2 人）
	11 月 9 日（水）	授業登壇（1.5 時間×1 人）
	11 月 16 日（水）	授業登壇（1.5 時間×1 人）

取組 8：地域日本語教育の実施

令和 4 年度の浜松市日本語教室では、初級クラスにおける日本語教育実習の受け入れ、中級クラスの本格開催、週末日本語教室における漢字指導等、地域日本語教育の拡充を図った。

拠点となる U-ToC では、日本語教師による初級・中級クラスと、ボランティア中心の読み書きクラスを通年開催した。また、浜北区、南区、東区の協働センターと夜間オンラインクラスでは、昨年度の学習者アンケートから、漢字へのニーズが散見されたため、ひらがな・カタカナに加え、漢字も学べるカリキュラムへと改訂し、ひらがなカタカナ漢字クラスを開催した。

■初級クラス

協働団体：With U-Net

	講座名	回数	日程	受講者
第 1 期	初級	107	4 月 11 日～9 月 28 日	628 人
第 2 期	初級	107	10 月 3 日～3 月 23 日	1,202 人

■読み書きクラス

協働団体：With U-Net

	講座名	回数	日程	受講者
第 1 期	読み書き	40	4 月 19 日～9 月 27 日	508 人
第 2 期	読み書き	40	10 月 11 日～3 月 16 日	671 人

■中級クラス

協働団体：With U-Net

	講座名	回数	日程	受講者
第 1 期	中級	48	4 月 18 日～8 月 26 日	219 人
第 2 期	中級	48	10 月 12 日～2 月 20 日	317 人

■ひらがな・カタカナ・漢字クラス 夜間コース（オンライン授業）

業務受託団体：公益財団法人浜松国際交流協会

	講座名	回数	日程	受講者
第 1 期	ひらがな・カタカナ・漢字 (夜間オンライン U-ToC)	16 回	5 月 10 日～8 月 30 日	99 人
第 2 期	ひらがな・カタカナ・漢字 (夜間オンライン U-ToC)	16 回	10 月 4 日～1 月 31 日	125 人

■ひらがな・カタカナ・漢字クラス 週末コース 浜北区（対面授業）

業務受託団体：特定非営利活動法人フィリピンナガイサ

	講座名	回数	日程	受講者
	ひらがな・カタカナ・漢字 (週末・浜北区 浜名協働センター)	16 回	5 月 21 日～8 月 6 日	111 人

■ひらがな・カタカナ・漢字クラス 週末コース 南区（対面授業）

業務受託団体：特定非営利法人浜松日本語日本文化研究会

	講座名	回数	日程	受講者
	ひらがな・カタカナ・漢字 (週末・南区 白脇協働センター)	16 回	8 月 20 日～11 月 5 日	155 人

■ひらがな・カタカナ・漢字クラス 週末コース 東区（対面授業）

業務受託団体：静岡県ベトナム人協会

講座名	回数	日程	受講者
ひらがな・カタカナ・漢字 (週末・東区 蒲協働センター)	16回	11月12日～2月18日	61人

取組9：企業と連携した外国人支援者養成（やさしい日本語）

総括コーディネーターが企業に出向いて、日本人従業員を対象としたやさしい日本語研修を実施した。研修には「やさしい日本語研修ワークブック（HICE 監修）」を用いた。

■企業内やさしい日本語研修第1回

日 程	6月2日（木）13:00～15:30
企業名等	浜松ヒートテック（株）
参加人数	6人
講 師	内山夕輝（浜松国際交流協会・総括コーディネーター）
アンケート	とても良かった100% 普段考えていないことを見直す機会となった。

■企業内やさしい日本語研修第2回

日 程	7月7日（木）15:00～17:00
企業名等	（株）浜名ワークス
参加人数	28人
講 師	内山夕輝（浜松国際交流協会・総括コーディネーター）
アンケート	とても良かった46%、良かった46%、普通7% 日本語を少し調整するだけでも外国人の方々にとっては聞き取りやすくなることがわかり良かった。

■企業内やさしい日本語研修第3回

日 程	8月24日（水）15:00～17:00
企業名等	（株）マルイチ
参加人数	10人
講 師	内山夕輝（浜松国際交流協会・総括コーディネーター）
アンケート	とても良かった90%、良かった10% 伝えたいことを明確に伝えるスキルを高める事の重要性を認識した。外国人のためだけではなく、誰に対しても同じであると思った。

■企業内やさしい日本語研修第4回

日 程	9月14日（水）10:00～12:00
企業名等	ヘルツ電子（株）※オンライン
参加人数	20人
講 師	内山夕輝（浜松国際交流協会・総括コーディネーター）
アンケート	とても良かった50%、良かった40%、普通5%、全然良くなかった5% 前半の浜松の外国人状況やサポート内容がわかりやすかった。方向性についても具体的に知ることができた。後半のワークショップを増やしてほしい。

取組 10：日本語学習支援ポータルサイトの運用

令和3年度、新たに作成された多文化共生ポータルサイト（HAMAPO）における学習教材等の日本語学習支援コンテンツの充実を図った。

市内各機関の待合等での配信を想定した浜松市外国人学習支援センターの紹介動画を多言語で作成した。（日本語版動画に英語・ポルトガル語・フィリピン語・ベトナム語・インドネシア語・中国語・スペイン語・やさしい日本語の字幕を付けた動画を作成した）

④外国人学校への日本語教師派遣事業（市委託：国際課 「外国人学習支援センター事業」）

外国人学校児童生徒への日本語学習支援のため、市内に所在し、本国政府の認可のある外国人学校に対して日本語教師を派遣する。

学校名	教員数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	学校計
ムンド・デ・アレグリア学校	年間5人	80	68	87	78	58	88	99	71	75	61	98	119	982
イーエーエス伯人学校	年間3人	177	176	208	209	179	194	171	208	62	61	173	219	2,037
エスコーラ・アウカンセ	年間2人	60	55	76	55	54	68	66	60	48	43	64	80	729
計		317	299	371	342	291	350	336	339	185	165	335	418	3,748

3. 外国につながる次世代支援事業

① 外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業（市委託：国際課）

調査対象者となった就学年齢の外国にルーツをもつ子供に対して、訪問等で就学状況を確認し、状況に応じて就学につなげるための支援を実施した。

■就学状況の把握

調査内容

	調査項目	回数	対象
A	新小学校1年生	1回（第1回調査）	4月に小学校1年生相当の年齢になる外国籍の子供
B	次年度新中学校1年生	1回（第4回調査）	次年度4月に中学校1年生相当の年齢になる外国籍の子供
C	転入者	6回	新たに浜松市に転入してきた外国籍の子供
D	退学者	6回	公立小学校、外国人学校等を退学した外国籍の子供

調査対象者数

（人）

	調査項目	調査対象者	訪問調査前に就学や異動等が確認された者	訪問調査対象者
A	新小学校1年生	25	18	7
B	次年度新中学校1年生	34	30	4
C	転入者	97	45	52
D	退学者	75	28	47
	合計	231	121	110

調査方法

訪問回数（不在含む）	265 回
訪問により面会できた件数	147 件
訪問時は不在だったが、差し置き資料により連絡があった件数	35 件
外国人学校・教育総合支援センターへの照会件数	335 件

■令和4年度に行った6回の調査の結果

項目				報告時点	
調査対象者 (231人)	浜松市に 居住 (174人)	就学 調査及び支援等 より、調査期間中 に就学が確認でき た者(112人)	公立小学校	22人	
			公立中学校	13人	
			私立小学校	0人	
			私立中学校	0人	
			市内の外国人学校	70人	
			市外の外国人学校	0人	
		就学が確認できな かった者(50人)	就学支援教室・学習施設等に在籍あり	26人	
			就学支援教室・学習施設等に在籍なし	24人	
			その他対象外案件 (12人)	市教委に相談あり、手続きが進んでいる段階	0人
				母国の通信教育を自宅学習している者	10人
	母国や外国人学校等で中学を卒業した者	2人			
	居住実態なし 訪問調査等により、転居・転出・ 帰国が確認できた(57人)	長期休暇等で来日(母国で在学中)	0人		
		居住実態なし(空室・別住民在在)	15人		
		親族等から一時帰国を確認した者	29人		
国内国外への転出			13人		
合計				231人	

【就学が確認できなかった者の属性】

1) 国籍

国籍	人数
ブラジル	37人
フィリピン	2人
ペルー	3人
その他	8人
合計	50人

2) 相当学年

小学校	人数
1年生	9人
2年生	2人
3年生	4人
4年生	5人
5年生	5人
6年生	7人
合計	32人

中学校	人数
1年生	2人
2年生	5人
3年生	11人
合計	18人

小・中学校合計 50人

■ケースに応じた支援

《令和4年度に行った6回の調査で就学が確認できなかった者の現在の状況》

(支援・継続調査・就学支援教室への在籍確認等による動向：令和5年3月31日現在)

項目			年度末時点		
就学が 確認で きな かった 者 (50人)	浜松市に 居住 (36人)	就学 継続調査及び 支援等によ り、就学に結 びついた者 (14人)	公立小学校	1人	
			公立中学校	3人	
			私立小学校	0人	
			私立中学校	0人	
			市内の外国人学校	8人	
			市外の外国人学校	2人	
		実質不就学 (22人)	就学支援教 室・学習施設 等に在籍あり (16人)	本国政府認可外の学習施設に 通っている	6人
				就学支援教室等に通っている (予定含む)	10人
			就学促進教 室・学習施設 等に在籍な し(6人)	学校や支援教室に通っておら ず、就学予定なし、帰国予定 なし	2人
				就学予定あり	4人
	転出予定			0人	
	その他対象外 案件 (0人)	市教委に相談あり、手続きが進んでいる段階		0人	
		母国の通信教育を自宅学習している者		0人	
		母国や外国人学校等で中学を卒業した者		0人	
		長期休暇等で来日(母国で在学中)		0人	
居住実態なし 継続訪問調査等により、転 居・転出・帰国が確認でき た者(14人)	居住実態なし(空室・別住民在住)		1人		
	親族等から一時帰国を確認した者		3人		
	国内外への転出		10人		
合計			50人		

■実質不就学(全体)が継続した者の内訳 (令和5年3月31日現在) *前年度からの継続者12名含む

項目			人数
実質 不就学 (34人)	就学支援教室等 に在籍有(24人)	本国政府認可外の学習施設に通っている	10人
		就学支援教室等に通っている(予定含む)	14人
	就学支援教室等 に在籍無(10人)	学校や支援教室に通っておらず、就学予定なし、帰国予定なし	4人
		就学予定あり	6人
		転出予定	0人
全体の合計			34人

【不就学者の属性】

1) 国籍

国籍	人数
ブラジル	28人
フィリピン	1人
ペルー	1人
その他	4人
合計	34人

2) 相当学年

小学校	人数
1年生	1人
2年生	5人
3年生	4人
4年生	5人
5年生	4人
6年生	2人
合計	21人

中学校	人数
1年生	2人
2年生	5人
3年生	6人
合計	13人

3) 不就学の期間

期間	人数
半年未満	7人
半年～1年未満	15人
1年～2年未満	7人
2年～3年未満	4人
3年以上	1人
合計	34人

小・中学校合計 34人

実質不就学者への支援

- ・ 不就学判明後も家庭訪問等で状況を確認
- ・ 教育総合支援センターや学校（現場）への同行
- ・ 外国人学校や就学支援教室の案内や同行
- ・ 関係機関や専門機関との連携

（経済的な問題だけでなく、保護者の無知・無関心・無理解により就学の必要性を感じていないケース、日本の学校に馴染めないことや日本語に対する不安がみられるケース、発達障害・学習障害・精神障害により就学に対する不安がみられるケース、ネグレクトやDVの虐待が疑われるケースなどの困難事例では、関係機関へ相談し、今後の支援について関係者らで話し合う場を設けた。）

■外国人学校等スクールカウンセラー派遣（96回）

発達相談支援センター（ルピロ）と連携し、外国人学校等にカウンセラー（ブラジルの幼児教育と心理の専門家）の派遣を行った。

これまでのカウンセリングにおいて、複雑な家庭環境により子供の情緒が安定せず、そのため友人関係や学習面に影響がみられるケースが明らかになっている。また、子供が抱えている問題は複合的であり、家族間の問題、ネグレクトやDVなどの虐待、発達障害や学習障害などの発達上の特性があること、家計が厳しいことなど、子供たちが様々な状況におかれていることが明らかになっている。これらの子供たちが不就学にならないようにするには継続したカウンセリングが必要である。

また、発達相談支援センター（ルピロ）と多文化共生センターにて、年間5回の連絡会を実施し、専門的見地から適切な対処法などについてアドバイスをいただいた。

派遣者：デヴィデ・ヴァンデル・ルイス（ブラジルの幼児教育と心理の専門家）

派遣先	学校名	実施スケジュール	実施回数	参加人数
	エスコーラ・アウカンセ	火曜日 9:00-13:00 /11:00-15:00	18回	72人
	ムンド・デ・アレグリア 学校	水曜日 9:00-13:00	36回	159人

イーエーエス伯人学校	水曜日	14:00-16:00	10回	242人
コレジオ・アルテルナチバ	金曜日	9:00-11:00	10回	10人
ラピス・デ・コル	金曜日	14:00-16:00	10回	19人
佐鳴台教室	月曜日	9:00-12:00	12回	23人
合計			96回	525人

スーパーバイザー：内山 敏氏（浜松市発達相談支援センター所長）

連絡会議	会場	実施スケジュール	実施回数
	多文化共生センター	隔月 水曜日 14:30-16:30	5回

●外国人学校等カウンセリング参加人数 (人)

学校	区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計	
エスココーラ・ アウカンセ	相談	学校	9	3	3	1	0	0	7	0	23
		子供	17	8	23	14	0	0	15	13	90
		保護者	5	0	1	0	0	0	3	0	9
	子供の観察		2	2	1	1	0	0	3	0	9
	専門機関を紹介した者		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		33	13	28	16	0	0	28	13	131
ムンド・デ・ アレグリア学校	相談	学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		子供	9	14	72	49	1	6	4	6	161
		保護者	6	4	10	5	0	2	3	1	31
	子供の観察		0	0	0	0	0	0	0	55	55
	専門機関を紹介した者		0	0	0	0	0	0	1	0	1
	合計		15	18	82	54	1	8	8	62	248
イーエーエス伯人学 校	相談	学校	0	1	1	1	0	0	0	15	18
		子供	0	19	1	0	0	0	0	145	165
		保護者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子供の観察		0	0	0	0	0	0	0	49	49
	専門機関を紹介した者		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		0	20	2	1	0	0	0	209	232
コレジオ・ アルテルナチバ	相談	学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		子供	1	2	0	0	0	0	3	1	7
		保護者	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	子供の観察		0	0	0	0	0	0	1	0	1
	専門機関を紹介した者		0	0	0	0	0	0	1	0	1
	合計		1	3	0	0	0	0	6	1	11

ラピス・デ・コル	相談	学校	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		子供	1	5	4	4	0	0	1	1	16
		保護者	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	子供の観察		0	0	0	0	0	0	1	0	1
	専門機関を紹介した者		0	0	0	0	0	0	1	0	1
	合計		1	6	4	4	0	0	4	2	21
佐鳴台教室	相談	学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		子供	15	5	17	13	0	1	0	1	52
		保護者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子供の観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	専門機関を紹介した者		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		15	5	17	13	0	1	0	1	52
全体	相談	学校	9	4	4	2	0	0	7	16	42
		子供	43	53	117	80	1	7	23	167	491
		保護者	11	6	13	5	0	2	7	1	45
	子供の観察		2	2	1	1	0	0	4	104	114
	専門機関を紹介した者		0	0	0	0	0	0	2	0	2
	合計		65	65	135	88	1	9	43	288	694

備考：

- ①学習障害の疑い／②学校生活習慣の問題（暴力的、ルールが守れない、社会性に欠ける、強情的）
 ③精神障害の疑い／④家族関係の問題／⑤いじめ/DV/依存症／⑥自殺願望/自傷行為
 ⑦疾患/特定疾患／⑧その他

② 定住外国人の子供の就学促進（市委託：国際課）

外国籍の子供の就学促進のため、市内にある 3 つの学習機関と連携し、就学等に課題を抱える外国にルーツをもつ子供の学びの場を確保するとともに、公立学校や外国人学校等教育機関への就学につなげるために必要な支援を実施した。

■在籍数月別推移

佐鳴台教室

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就学前	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	8
小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	6
中学生	0	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	26
学齢超過	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	32
合計	3	6	6	6	6	5	5	5	6	7	8	9	72

雄 踏 教 室 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就学前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	4	4	6	6	5	5	9	9	9	9	8	7	81
中学生	1	1	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	15
学齢超過	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	5	8	8	6	7	10	10	10	10	9	8	96

駅 南 教 室 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就学前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
中学生	0	0	1	2	2	1	0	1	1	1	2	2	13
学齢超過	5	6	6	9	10	10	9	10	10	12	12	12	111
合計	5	6	7	11	12	11	9	11	11	14	15	15	127

■国籍別在籍実人数 (人)

国籍	佐鳴台教室	雄踏教室	駅南教室	合計
ブラジル	10	17	0	27
フィリピン	0	0	17	17
ペルー	2	0	0	2
パキスタン	0	0	1	1
ナイジェリア	0	0	1	1
日本(外国ルーツ)	1	0	0	1
合計	13	17	19	49

■就学実績等 (人)

就学先等	佐鳴台教室	雄踏教室	駅南教室	合計
公立小中学校	5	0	5	10
公立高校等	2	0	7	9
外国人学校	1	6	0	7
その他	5	11	7	23
合計	13	17	19	49

※その他:就職、国内外転出、継続希望等

《主な就学先》

- ・浜松市立篠原小学校、葵西小学校、和地小学校、佐鳴台小学校、白脇小学校
- ・浜松市立開成中学校、清竜中学校、江西中学校、曳馬中学校、丸塚中学校
- ・静岡県立浜松大平台高等学校、浜名高等学校、江之島高等学校、オイスカ浜松国際高等学校
- ・ムンド・デ・アレグリア学校、イーエーエス伯人学校

③ 外国にルーツを持つ青少年のキャリア支援事業（市委託：国際課 「外国人学習支援センター事業」）

■（定住外国人若者向け）高校生のための就職応援セミナー（160人）

日時 6月27日（月）①10:45～12:30 ②19:35～21:15

内容

- ・講話 介護福祉士 ホセ カルロス氏（ペルー出身）
- ・企業紹介

社会福祉法人聖隷福祉事業団、株式会社良品計画、ぬくもりのおうち保育株式会社

成果 高校生からは、「資格を取った方が視野が広がる」、「自分の好きな事を見つけて、その仕事に就くために必要な資格を取りたい」、「高校をきちんと卒業しようと思った」との前向きなコメントが多かった。

■関係諸機関とのネットワーク会議

外国人青少年の支援に係る関係諸機関との連携体制を構築するため、ネットワーク会議を開催した。令和4年度は県西部高等学校定時制通信制副校長教頭会と連携して会議を実施した。

日時 9月5日（月）13:00～14:00

会場 静岡県立浜名高等学校

参加 15団体

静岡県立新居高等学校定時制課程／静岡県立浜名高等学校定時制課程

静岡県立浜松大平台高等学校定時制課程／静岡県立浜松北高等学校定時制課程

静岡県立浜松工業高等学校定時制課程／静岡中央高校西部キャンパス

学校法人倉橋学園伯人学校イーエーエス浜松／エスコーラ アウカンセ

学校法人ムンド・デ・アレグリア／ハローワーク浜松

（オブザーバー）静岡県多文化共生課／静岡県教育委員会／浜松市教育委員会
浜松市国際課

内容 参加団体報告（在籍する外国籍生徒の状況やキャリア支援の取組等）、意見交換（浜松管内就職状況、必要な支援等）

■高校生の子どもを持つ保護者向けセミナー「日本で子どものキャリアを考える」

日時 12月9日（木）19:30～21:00

会場 静岡県立浜松大平台高等学校 会議室

講師 伊藤クリスティーナ（ブリエイジア合同会社）

内容 講師による保護者向けの講話（子どものキャリアを日本で考える時に必要な事等）、質疑応答、意見交換を行った。

参加者 8人

4. 多文化防災事業（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）

① 外国人防災リーダー養成研修（18人）

第1回 「多言語支援センターの役割、起震車による揺れの体験、防災学習センター見学」

日時 9月3日（土）14:00～15:30

会場 防災学習センター

参加者 18人

第2回 「家庭内DIG訓練、防災グッズの紹介」

日時 9月3日(土) 15:45～17:00

会場 防災学習センター

講師 浜松市危機管理課

参加者 18人

第3回 「大規模地震等に備えて避難方法を学ぶ」

日時 9月10日(土) 14:00～15:30

会場 多文化共生センター

講師 浜松市危機管理課

参加者 18人

② 災害時多言語支援センター設置訓練 (11人)

日時 3月24日(金)

会場 多文化共生センター

参加者 11人 (HICE職員11人)

③ 災害時に備えたネットワークの強化 (23人)

日時 10月22日(土) 10:00～12:00

会場 多文化共生センター

参加者 23人 (外国人防災リーダー)

- 内容
- ・防災リーダーによる防災グッズの紹介
 - ・災害時に防災リーダーになろう!～過去の災害の体験談から～
講師: NPO法人レスキューストックヤード 浜田ゆう氏
 - ・「防災ポケット」(災害時情報ミニパンフレット)の紹介 (NHK 静岡放送局)

④ 災害・防災情報の提供 (452件)

Facebookにおいて以下のとおり情報提供を実施した。

月	内容	件数
4月	新型コロナウイルス感染症について	34
5月	新型コロナウイルス感染症について	42
6月	新型コロナウイルス感染症について	35
	不発弾処理について	6
7月	新型コロナウイルス感染症について	40
	大雨・土砂災害情報 避難指示等	10
8月	新型コロナウイルス感染症について	21
	防災情報	2
9月	新型コロナウイルス感染症について	17
	大雨・土砂災害情報 避難指示等	12
10月	新型コロナウイルス感染症について	41
	台風注意喚起	3
11月	新型コロナウイルス感染症について	39
12月	新型コロナウイルス感染症について	42
1月	新型コロナウイルス感染症について	43
	水道管の凍結注意等	3

2月	新型コロナウイルス感染症について	28
3月	新型コロナウイルス感染症について	33
	津波防災訓練について	1

⑤ 多言語による緊急情報提供体制づくり推進事業

災害時等の緊急情報が得られにくい外国人市民に対し、多言語による緊急情報の提供体制を構築することで、外国人市民の安全・安心な暮らしを守ることを目的に、緊急情報を多言語で一元的かつ適切に提供できる新たな仕組みの構築を検討した。

■緊急情報提供体制の構築に向けた調査研究

- ・外国人市民を対象としたアンケート及びヒアリングによる実態調査や他都市研究
- ・災害時等における在留外国人への多言語支援のスキルやノウハウを有する関係機関等により構成する検討会議の設置など

■緊急情報提供体制の実用化検証

- ・外国人市民の使用頻度が高い媒体やAI・RPA等先進技術を活用した多言語翻訳の検討
- ・情報提供ツールの実用化に向けたシステム設計や運用テストの実施など

<委員>

	団体名等	部署名等	職・氏名
1	静岡県立大学	国際関係学部	教授 高畑 幸
2	コニカミノルタ株式会社		KOTOBAL プロダクトマネージャー 小笠原 堂裕
3	外国人市民代表	ブラジル	玉城エレン (防災リーダー、同行通訳者)
4		フィリピン	只尾ジェニファー (市多文化共生センター相談員・通訳、 NPO 法人フィリピン・ナガイサメンバー)
5		ベトナム	鈴木ヒエン (防災リーダー、市多文化共生センター相談員・通訳)
6	公益財団法人浜松国際交流協会		副主幹 キクヤマ リサ (災害時外国人支援情報コーディネーター)
7	浜松市	危機管理監危機管理課	市民啓発グループ長 渥美 高幸
8			市民啓発グループ 原田 晃輔
9		企画調整部広聴広報課	報道グループ長 杉本 尊教
10			報道グループ 主任 原 賢輔
11	企画調整部国際課		副参事(課長補佐) 加藤 智春

(敬称略・順不同)

グローバル感覚に優れた人づくり

1. 地域共生事業（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）

① 各地域への個別支援（10自治会から11件の相談）

自治会 北寺島西町、田端団地、浜北道本、鷺の宮団地、鴨江北町、茄子町、新津地区
砂山町、篠原東、東若林

相談内容 ・通訳要請（4件）
・翻訳要請（5件）
・交流会等の開催支援（2件）

② 地域共生自治会会議

浜松市内の自治会役員等の関係者を対象に、自治会活動において外国人住民と日本人住民との共生をどのように進めていくか、具体的に参考になるような講話を提供したり、自治会間の経験を学び合ったりする場を提供する。

「改めて、おとなりの外国人の来日事情・生活事業を知る」

日時 7月23日（土）14：00～16：00

会場 多文化共生センター

内容 講話「浜松で暮らして30年」 岡田シモネ（ブラジル出身・自治会活動 PTA 活動経験者）
事例紹介「出前講座で外国人とおしゃべりしてみた」（自治会事例報告）

案内「通訳翻訳などの多文化共生センターのサービスについて」

小グループワークショップ フィリピン・ベトナム・ペルー・中国・インドネシア出身者
から日本での暮らしについて話を聞く

参加者 26自治会 30人

2. 多様性を生かしたまちづくり事業（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）

① はままつ多文化共生 MONTH(月間)事業

在住外国人の実話を元にした異文化エピソードをテーマとするマンガを制作。Facebook および Instagram において SNS 広告として広く発信した。

② 文化・スポーツ紹介（7件）

Facebook により浜松市内の主要な文化・スポーツイベント等についての情報を多言語で提供。
合計7件

③ 地域活性化事業

■（在住外国人向け）「ブラジル人起業家ワークショップ」（57人）

日時 2月10日（金）17：00～20：30

会場 多文化共生センター

参加者 57人

内容 1) 日本人向けのビジネスに成果するためのヒント
はままつ起業家カフェ 中小企業診断士 村木則代
2) ブランドの価値とは
J1株式会社 セレス・エマヌエル
3) アイデア発表（ピッチ登壇）・ネットワーキング・結果発表

共催 J1株式会社

■（定住外国人若者向け）高校生のための就職応援セミナー（160人）

日時 6月27日（月）①10：45～12：30 ②19：35～21：15

内容

・講話 介護福祉士 ホセ カルロス氏（ペルー出身）

・企業紹介

社会福祉法人聖隷福祉事業団、株式会社良品計画、ぬくもりのおうち保育株式会社

成果 高校生からは、「資格を取った方が視野が広がる」、「自分の好きな事を見つけて、その仕事に就くために必要な資格を取りたい」、「高校をきちんと卒業しようと思った」との前向きなコメントが多かった。

■外国人雇用企業の優良事例について学ぶセミナー（34人）

日時 11月18日（金）14：00～15：45

会場 クリエイト浜松2階ホール

対象 外国人材の雇用に関心のある浜松市内の企業等 34人

内容 外国人活躍宣言事業所認定企業より事例発表及び行政書士による講演

事例発表：(株)浜名ワークス、(株)フジヤマ、ヤマハ(株)

講演：「外国人を雇用するにあたって」行政書士 村松正利

④多文化フェスタ浜松2022の運営（市負担金：国際課）

HICEが多文化フェスタはままつ実行委員会事務局として運営。

■開催日時

2022年8月28日（日）13：00～16：00

■開催場所

浜松市ギャラリーモール ソラモ

■来場者

約3800人

■開催内容

（1）ダンス、楽器演奏ステージ

ブラジル人・ペルー人学校生徒による和太鼓演奏	学校法人ムンド・デ・アレグリア
フィリピン伝統的ダンス、ヒップホップ	NPO法人フィリピノナガイサ
アオザイショー、ベトナム竹ダンス「ニヤイサップ」	湘南日本語学園浜松校ベトナム人留学生
ペルー伝統舞踊「マリネラダンス」、フォルクローレ	Asociación Civil Gestión Ciudadana
インドネシアジャワ舞踏	ソーダラ・インドネシア
サンバ	エスコラジサンバハママツアレグリアインデペンデンチ、ブラジリダージ

（2）飲食店ブース

株式会社アイ・ビー・カンパニーがガラナ、ココナッツウォーター、ミネラルウォーター、肉のサンドイッチ、ブラジルのナッツ、ソーセージ、ポンデケージョを販売。

■実行委員一覧

中央地区自治会連合会	会長 村井 秀行
浜松まちなかにぎわい協議会	事務局長 斉藤 恵一
在浜松ブラジル総領事館	領事 バストス カルロス フレデリコ

(独) 国際協力機構	JICA 浜松デスク 荒石真生
日伯交流協会	理事 小田木 基行
NPO 法人フィリピンナガイサ	事務局長 半場和美
浜松市	国際課長 鈴木 三男
(公財) 浜松市文化振興財団	事務局長 藤田 健次
(公財) 浜松国際交流協会	業務執行理事 安間 浩

■協賛

株式会社静岡県セイブ自動車学校、株式会社アイ・ビー・カンパニー、セイワ・サポート株式会社、株式会社エルピースタッフ、株式会社ソミックマネージメントホールディングス

⑤浜松市外国人材活躍宣言事業所認定事業（市委託：国際課）

■認定事業

外国人材の活躍推進に積極的に取り組んでいる事業所を対象に、チェックリスト等に基づき審査をし、優良事業所として認定した。認定された事業所は、浜松市公式ホームページにおいて公表されるとともに、浜松市の発注する建設工事、物品購入、業務委託において優遇措置を受けられる。また、また、認定マークの使用が可能になる。

認定事業所数 9 事業所

認定事業所名 (株)フジヤマ、社会福祉法人三幸会、(株)浜名ワークス、東海下水道整備(株)、(株)アクティシステム、ヤマハ(株)、文丘建設(株)、(有)メット、(有)伸栄総合サービス

授与式 11月18日(金) 会場：クリエート浜松2階ホール

■アドバイザー派遣事業

- ・認定事業所からの依頼による多文化共生分野の助言・サポート業務 2社(2回)
- ・応募を検討する事業所への外国人材雇用等のアドバイザー派遣業務 3社(4回)

3. グローバル人材の育成と活用

① 地球人教育出前講座及びコーディネート(市委託：国際課 「多文化共生センター事業」)

■学校等への派遣

学校名	参加者 (人)	登録ボランティア	専門職員
浜松学院中学校・高等学校	15	シンガポール出身者1名	
ルネサンス デザイン・美容専門学校	32		多文化共生センター 専門職員1名
浜松聖星高等学校	14	フィリピン出身者1名	
浜松医科大学大学院助産学	5		多文化共生センター 専門職員1名
浜松市立看護専門学校	80		多文化共生センター 専門職員1名
浜松市立看護専門学校	80		多文化共生センター 専門職員1名

浜松市立看護専門学校	80		多文化共生センター 専門職員2名(ブラジル 出身者含む)
浜松北高校定時制	29	フィリピンルーツ大学生 2名	
ルネサンス デザイン・美 容専門学校	32	インドネシア出身者1名、 日本人1名	
静岡文化芸術大学	100		多文化共生センター 専門職員1名
静岡県立大学	50		多文化共生センター 専門職員1名(ブラジ ル出身者)
静岡県人権擁護委員連合 会研修	76		多文化共生センター 専門職員1名
浜松市立看護専門学校	80	インドネシア出身者1名	多文化共生センター 専門職員1名
浜松市立看護専門学校	80	フィリピン出身者1名	多文化共生センター 専門職員1名
浜松市立看護専門学校	80	中国出身者1名	多文化共生センター 専門職員1名
浜松市立看護専門学校	80		多文化共生センター 専門職員1名
浜松市教育研究会中学社 会科研究部	30	登録ボランティア1名	多文化共生センター 専門職員1名
浜松湖東高校	15	登録ボランティア1名	
浜松学院高校	40		多文化共生センター 専門職員1名
浜松市立看護専門学校	80		多文化共生センター 専門職員1名
浜松聖星高校	4	フィリピン出身者1名	
静岡県立浜松湖南高校	39	登録ボランティア1名	
静岡県立浜名高校	389	登録ボランティア1名	
静岡県立浜松湖南高校	39	登録ボランティア1名	
浜松開誠館中学校高等学 校 高校グローバルコー ス	40	登録ボランティア1名	
東京未来大学	6		多文化共生センター 専門職員1名
浜北国際交流協会	46		外国人学習支援セン ター専門職員1名
東京外国語大学 TUFS オー プンアカデミー	18		外国人学習支援セン ター専門職員1名
常葉大学(経営学部)	50		外国人学習支援セン ター専門職員1名
常葉大学(異文化交流サー クル等)	6		外国人学習支援セン ター専門職員1名
浜松市国際課	ハイブ リッド 開催		多文化共生センター 専門職員1名・外国人 学習支援センター1名

浜松日本語学院	37		外国人学習支援センター専門職員1名
沼津日本語学院	11		外国人学習支援センター専門職員1名
宮崎県国際交流協会	19		外国人学習支援センター専門職員1名
宮崎県国際交流協会（宮崎市・延岡市）	36		外国人学習支援センター専門職員1名
浜松科学館	10		外国人学習支援センター専門職員1名
日本語教師のキャリアパス研究会（常葉大学）	7		外国人学習支援センター専門職員1名

■協働センター等への派遣・コーディネート

協働センター名	参加者 (人)	登録ボランティア	専門職員
長上協働センター	31	登録ボランティア1名	

■団体等への講師派遣・コーディネート

派遣先名	参加者 (人)	登録ボランティア	専門職員
「アート×ケア×文化政策」研究会	73		多文化共生センター専門職員1名

■学校・団体等からの訪問受け入れ

学校名・団体名	訪問先・期間		訪問者数
	多文化共生センター	外国人学習支援センター	
静岡大学浜松キャンパス	1日		15人
浜松いわた信用金庫	2日	1日	4人
在マナウス日本国総領事館	1日		2人
移民政策学会	1日		20人
東京大学博士課程	1日		1人
静岡大学附属浜松中学校	1日		5人
浜松学院大学・学習院女子大学	1日		2人
東京都生活文化スポーツ局	1日		2人
浜松市立追分小学校	1日		4人
東京未来大学	1日	1日	1人
国民生活産業・消費者団体連合会	1日		2人
静岡大学	1日		1人
静岡文化芸術大学	1日		2人
UNHCR 駐日事務所	1日		3人
日建設計	1日		22人
北九州市	1日		3人
JICA 本部（中南米）	1日		2人
静岡県立大学	1日		1人
長崎県立大学	1日	1日	1人
静岡県立浜松湖南高校	2日		1人

静岡県立浜松湖東高校	2日		1人
中央大学	1日	1日	27人
特定非営利活動法人可児市国際交流協会	1日		3人
名古屋学院大学	1日		1人
(一社)プラチナ構想ネットワーク	1日		5人
浜松市立新津中学校	1日		17人
特定非営利活動法人パルシック	1日		1人
工学院大学	1日		1人
津田塾大学	1日	5日	1人
浜松市立入野中学校	1日		14人
熊本市国際課	1日		2人
特定非営利活動法人名古屋難民支援室	1日		3人
出入国在留管理庁	1日		1人
亜細亜大学	2日		8人
世界銀行	1日		3人
静岡産業大学	1日		2人
千葉大学・多文化フリースクールちば・ JICA日系サポーター	1日		10人
静岡県立浜松西高校中等部	2日		2人
浜松市立看護専門学校	1日		3人
ナマステ江戸川区	1日		1人
浜松開誠館高校	1日		1人
静岡県地域外交局・浜松インドネシア友好 協会	1日		7人
大東文化大学	1日		2人
京都市立西京高校	1日		39人
北海道教育大学岩見沢校	1日		1人
静岡文化芸術大学	1日		1人
大正大学	1日	1日	1人
静岡県立浜松視覚特別支援学校職員研修		1日	1人
(公財)日本国際交流センター		1日	4人
静岡県立池新田高等学校職員研修		1日	1人
都市政策アドバイザー		1日	1人
駐日アメリカ合衆国大使館		1日	2人
合計 47 団体		延べ 55 日	合計 252 人

②グローバル人材セミナー（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）（47人）

■環境活動家 露木しいな氏からのメッセージ

「気候危機は自分じゃない誰かが解決してくれる、なんてない 自分はどうする？」

日 時 10月1日（土）14：00～16：00

場 所 クリエイト浜松1階ふれあい広場

参加者 47人（小学生、中学生、高校生、大学生、社会人）

内 容 露木しいな氏講演会

バンングラデシュで活動する大学院生及びバンングラデシュからの留学生との討議
会場からの質疑応答

③国際理解教育講座（自主事業）（31人）

■「国際理解講座 ワークショップで考える“戦争”と私たち」

場 所 浜松市多文化共生センター
 主 催 はままつ国際理解教育ネット
 内 容 2022年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻を受け急遽企画した、高校生以上向けのワークショップ形式による講座。
 (1) 様々な視点から見るウクライナ問題：メディアリテラシーとは？
 (2) 戦争と平和カードゲーム：平和外交の難しさや核保有の意味を体感
 (3) スマホと世界の紛争：私たちの身近なものとのつながり
 (4) 参加者交流タイム
 参加者 高校生、学校教員

■「国際理解教育ファシリテーター養成講座」

場 所 浜松市多文化共生センター
 主 催 はままつ国際理解教育ネット
 共 催 JICA 中部
 テーマ 「ゼロから学べる国際理解教育ワークショップ術」
 内 容 高校生以上を対象に、多文化共生、貧困、環境問題などの今日的課題を通じた国際理解教育に関する概要を学ぶとともに、ファシリテーターとしてのスキルの取得を目指す連続講座。
 参加者 会社員、英会話講師、高校生、学校教員

	日 時	内 容	講 師	参 加 者
1	7月10日(日) 10:00~17:00	<多文化共生>：多様性の尊重× 社会正義の実現 <ヤングケアラー>：SDGs× 教育	はままつ国際理解教育ネット	10人
2	7月24日(日) 10:00~17:00	<生活と地球環境>：SDGs× 環境 <フィールドワーク>：SDGs× 多文化マップ		10人
3	12月3日(土) 10:00~17:00	<実践編>：ワークショップのプログラム作り		15人

④第13回はままつグローバルフェア(自主事業) ※HICE 設立 40周年記念式典同時開催

目 的 広く市民(特に次世代を担う子ども・若者)に呼び掛け、国際交流に参加するはじめての一步の機会とし、文化を通じた多文化共生の社会づくりにつなげる。外国人と日本人同士の交流の場を提供し、気軽に多くの方に参加してもらおう機会とする。

日 時 令和5年2月12日(日)

場 所 クリエイト浜松

来場者 約5000人

会場	ブース名	内 容
ふれあい広場	HICE40周年記念	主催者あいさつ、来賓あいさつ
	ワールドステージ	市内で活動する多国籍グループによるダンスや楽器の発表
	ワールドマーケット	海外の雑貨やフェアトレードグッズの販売
	90ヶ国市民大集合	挨拶ゲーム、音楽で盛り上がる
創造活動室	食堂	食事スペース(新型コロナウイルス対策を講じた上で設置)
外：中庭	世界の料理	市内外国料理店による飲食物の販売

ホール	外国ルーツ若者企画	浜松の公立学校を卒業した定住外国人の若者らが、人生を振り返りながら今後の浜松の多文化共生について日本語で語る
ホール前	SDGs コーナー	パネル展示
	交通安全コーナー	交通安全に関する展示、クイズ、ゲーム
21 講座室	国際理解ワークショップ	はままつ国際理解教育ネット提供によるワークショップ
22 講座室	フィリピン語スピーコン	フィリピン語スピーチコンテスト
アトリエ	日本語教室発表会	常葉大学と HICE で連携した天竜日本語教室の取り組みと成果発表
HICE 事務局	本部	総合案内所、JICA コーナー
スタジオ	海外文化体験	インドネシア・バングラデシュ文化紹介・体験
52 会議室	日本文化体験	英語で書道体験

⑤コミュニティ・エンパワメント（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）（51 人）

内 容 国籍別・言語別にそれぞれのニーズに応じてテーマを設定し、各言語によるセミナーを行った。

対 象 各外国人コミュニティの一般人

日程	テーマ	講師	参加者数
6 月 26 日（日）14:00～16:00 会場：多文化共生センター	（ベトナム人対象） 「特定技能について」	名古屋入国管理局 審査管理部門 在留支援担当	7 人
7 月 10 日（日） 10:00～12:00 会場：クリエート浜松	（フィリピン人対象） 「帰化申請について」	守屋 和弘氏（行政書士）	21 人
11 月 12 日（土） 16:00～18:00 会場：ブラジルレストラン ヴィラ・ブラジル	（ブラジル人対象） 「21 世紀に老後を迎えるチャレンジについて」	ヴァンデル デビデ氏（ブラジル人心理分析士）	23 人
合計			51 人

⑥多文化体験・交流事業（市委託：国際課 「外国人学習支援センター事業」）（109 人）（前年度 80 人）

外国人市民と日本人市民が相互の文化を理解し、市民同士の交流を深める体験講座。

■多文化体験（受講者数 延べ 109 人）

	日程	コース	講師	参加者
1	5 月 26 日（木） 9:30～12:30	校外学習 「新居の関所めぐり」	With U-Net	22 人
2	7 月 14 日（木） 10:00～12:30	防災訓練	河口美緒 (浜松国際交流協会)	23 人
3	11 月 11 日（金） 9:15～11:45	校外学習 「浜松科学館でプラネタリウムを見よう！」	With U-Net	38 人
4	1 月 17 日（火） 10:00～12:30	防災訓練	西消防署隊員 (浜松市西消防署)	26 人
合計				109 人

⑦ブリッジビルダー育成（104人）

「実務セミナー 在住ベトナム人事情」

日 時 7月12日(火)13:30～16:45
 会 場 対面およびオンライン開催（ZOOM）
 内 容 ①「在住ベトナム人事情」

講師：高橋典史（東洋大学教授）

②「やさしい日本語」～外国人に伝わる日本語を学ぼう

講師：内山夕輝（U-ToC 地域日本語教育総括コーディネーター）

参加者：会場参加（①及び②）24人

オンライン視聴（①のみ）80人

（社会福祉協議会職員、民生委員、市教委、市職員、消防署職員など外国人支援に職務上の関わりがあり、地域コミュニティにおいても外国人住民との相互理解を進める人材となる人）

4. 国際交流・国際理解事業

1) 外国語講座

①国際交流のための外国語講座（自主事業）（48人）（前年度53人）

■国際交流のためのベトナム語講座：初級（全12回・第3期8回）

講師 坂井亜美

日 程 火曜日 19:00～20:30

第1期	5月10日～7月26日	9人	受講者 合計21人
第2期	9月6日～11月22日	5人	
第3期	1月17日～3月7日	7人	

■国際交流のためのポルトガル語講座：初級（全12回）

講師 柳澤クリスティーナ

日 程 木曜日 19:00～20:30

第1期	5月12日～7月28日	8人	受講者 合計20人
第2期	9月8日～12月1日	12人	

■国際交流のためのタイ語講座：初級（全12回）

講師 植木チュダー

日 程 金曜日 19:00～20:30

第1期	5月13日～7月29日	7人	受講者 合計7人
第2期	中止	0人	

2) 交流イベント（自主事業）

①世界を知ろう！異文化理解講座（106人）

オンラインの強みを生かし、各国からの中継や動画を用いテーマに沿って文化紹介を行った。

会 場 オンライン講座

日程	内容	参加者
5月15日（日）	妖精の国アイルランド（アイルランド）	27人
7月31日（日）	もっと知りたい！シンガポール（シンガポール）	29人
11月20日（日）	これまでとこれから（マラウイ、ラオス、イランなど）	31人

2月26日(日)	イギリスのサブカルチャー(イギリス)	19人
合計		106人

② 寸劇「ブラジル×日本 融和のあゆみ」

ブラジル人ママの会「セメンチーニャ」と協働で企画した寸劇「ブラジル×日本 融和のあゆみ」を上演。日本人がブラジルへ移民した歴史や、彼らが日系ブラジル人として日本へ戻ってきた背景と日本での生活が、セメンチーニャメンバーや彼らの祖父母の実体験をもとに演じられた。

■静岡県立浜松大平台高等学校

日時 1月13日(金) 10:30~12:00

参加者 I部II部 高校生約400人

■磐田・袋井・掛川インターナショナルフェア2023

場所 ららぽーと磐田 1F中央広場

日時 3月12日(日) 12:30~13:45

■浜松市立江南中学校(JICA中部共催)

日時 2月16日(木) 11:00~12:15

参加者 中学生

③ アフガニスタン支援セミナー(110人)

「アフガニスタンからの退避者の実情にせまる」(オンライン)

2021年8月にアフガニスタンがタリバンに実効支配されてから1年が経ち、世界に約18万人、日本に740人ほどのアフガニスタン人が退避している。日本で暮らすアフガニスタン退避者の実情について、専門家及び当事者から話を聞き、私たちに何ができるか考えるセミナーを開催した。

日時 9月4日(日) 10:00~12:00

内容 小川玲子(千葉大学教授)

山本英里(シャンティ国際ボランティア会事務局長兼アフガニスタン事務所長)

アフガニスタン退避者

参加者 110人

④ はままつサステナブル・コミュニティ

概要 2021年度のグローバル人材セミナーにおいて、ドキュメンタリー映画「プラスチックの海」を上映し、SDGsを考えるワークショップを開催した。その後、ワークショップ参加者を中心にSDGsに係る活動と呼びかけ、集まった市民とともに「サステナブルな公共施設を目指して」という活動を始め、月1回のミーティングを開催し、SDGsのテーマについて考え実践するグループ活動を展開。

参加者 10人(中学生、高校生、大学院生、留学生、教員、公務員、NPO職員、
クリエイト浜松職員、HICE職員)

4月29日(金)	顔合わせ・思いを語る
5月29日(日)	活動・目標の確認、クリエイト浜松の見学、今後の活動のアイデア出し
6月26日(日)	勉強会:再生可能エネルギーについて 講師:松尾廣伸氏(静岡大学 電子工学)
7月31日(日)	未来のビジョンを描くワークショップ ファシリテーター:三田景子氏(はま国ネット)

9月18日(日)	10月のグローバル人材セミナーの準備
10月1日(土)	グローバル人材セミナー「環境活動家：露木しいなさんの講演会」 クリエート浜松1階ふれあい広場 定員80名 高校生・大学生を中心に
10月23日(日)	サステナブル・アクション①「やってみよう！脱プラスチック」
11月27日(日)	サステナブル・アクション②「やってみよう！ゼロ・ウェイスト」
12月11日(日)	サステナブル・アクション③「まとめと今後に向けて」
1月22日(日)	はままつグローバルフェアに向けての準備
2月12日(日)	はままつグローバルフェアにて活動報告・提言等

⑤ 大好きなあの歌を英語で歌おう (92人)

Jazz 歌手でもあり音楽教室を持つフィリッピン人講師から、発声方法や英語の発音、テンポの取り方など洋楽の歌い方を4回にわたり学び、音楽を通じて異文化に関心を持つ機会とした。

日 時 9月6日、13日、27日、10月4日(火) 10:30~12:00

場 所 クリエート浜松 ふれあい広場

参加者 92人

共 催 中部協働センター

5. 担い手の育成：ボランティア活動支援事業（自主事業）

①HICE ボランティアバンクの運営 (2,921人) (前年度 2,865人)

通訳・翻訳、日本語教育、ホームステイ、イベント、出前講師に関する市民ボランティアの活動を推進した。

<ボランティアバンク登録人数> 6区分

出前講師ボランティア	290人
通訳・翻訳ボランティア	583人
日本語教師ボランティア	583人
ホームステイボランティア	340人
情報提供ボランティア	210人
イベントボランティア	965人

合計： 延べ2,921人

②HICE ボランティア向け研修 (19人)

■やさしい日本語講座

日 時 10月1、8、15、29日(土) 10:00~11:30

場 所 多文化共生センター

参加者 19人 (HICE ボランティアバンク登録者)

内 容 やさしい日本語の成り立ちと作り方
話すトレーニング、書くトレーニング
案内づくり

講 師 内山夕輝 (U-ToC 地域日本語コーディネーター)

③バディ・ボランティア活動「これからバディ」(91人)

概 要 日本で暮らす外国人と日本人が、支援する・されるという関係ではなく、バディ(仲間)として一緒に楽しいことをしていこうという趣旨で、HICE ボランティアが企画に参画しながら不定期に交流活動を行った。

共 催 JICA 浜松デスク

内 容 5月29日(日) 高塚熊野神社、スズキ歴史館等訪問 参加者 49人

6月19日(日) 英語とやさしい日本語で観るアート鑑賞ツアー@鴨江アートセンター
参加者 42人

その他、不定期・非公式に、花火大会訪問、バドミントン、こども館でのイベント参加、サッカーイベント参加、お花見など年間を通じて活動を行った。

参加者 留学生、技能実習生、企業で働いている人、日本人の家族などで新しく浜松市に住み始めた人が主に参加。国籍も多様で、インドネシア、ブラジル、フィリピン、ペルー、中国、スリランカ、バングラデシュ、インド、トルコ、アイルランドなど様々。

6. 担い手の支援：国際交流活動支援事業

- ①多文化共生・国際交流推進事業費助成金の交付(市補助金：国際課)(申請26件確定21件)(前年度22件)
浜松市内で活動する多文化共生・国際交流関係団体を支援するため、多文化共生・国際交流推進事業費助成金を交付した。

(円)

No.	主催団体	対象事業	交付確定額
1	NPO法人ARACE	ARACE希望教室事業	321,000
2	KSC子どもサポーターズクラブ	外国にルーツを持つ子どもたちへの学習支援	410,000
3	GCC中国語教室	GCC中国語教室	360,000
4	そらの会	放課後そらの会	300,000
5	中国文化交流会	中国人のための日本語勉強会	140,000
6	NPO法人日本語教育ボランティア協会	ジャボラ日本語教室	400,000
7	NPO法人浜松外国人子ども教育支援協会	中学校放課後学習支援教室 アイスプラネット	160,000
8	NPO法人浜松外国人子ども教育支援協会	外国につながりをもつ子供のための就学前支援教室「つくしっこ」	83,000
9	NPO法人浜松外国人子ども教育支援協会	未来へはばたけ！ 「まつっこ」カミズ計画2022	175,000
10	NPO法人浜松外国人子ども教育支援協会	コレジオ アルテルナチーバ「日本語事業」	74,000
11	NPO法人浜松日本語・日本文化研究会 (にほんごNPO)	外国人住民に対する日本語学習支援「にほんご日曜教室」	260,000
12	NPO法人浜松日本語・日本文化研究会 (にほんごNPO)	外国人住民に対する日本語学習支援「にほんご木曜教室」	300,000
13	浜松協会 ソモスペルー	スペイン語教室(プロジェクト レンガ エスパニョウラ)	295,000
14	NPO法人フィリピンナガイサ	定住フィリピン人青年のための進路支援事業	124,000
15	三ヶ日日本語教室	三ヶ日日本語教室	103,000
16	龍の会	外国籍児童生徒への日本語教育と学習支援	204,000
17	わたぼうしグランドデザイン	浜松インターナショナルスクール	92,000
18	YACHAY(ヤチャイ)	スペイン語 読み・書き・会話教室YACHAY	500,000
19	浜松市浜北日中友好協会	日中友好交流事業	37,000
20	HANDs(Hamamatsu and Davao Smile project)	浜松多文化共生音楽交流プロジェクト	130,000

21	在浜松ブラジル総領事館市民評議会	BRAZILIAN DAY HAMAMATSU	300,000
合計			4,768,000

②天竜地域事業

■日本語教室（市委託：外国人学習支援センター事業）

期 間 4月10日～3月26日 日曜日 10:00～11:30 全31回
 場 所 二俣協働センター他（天竜区二俣町）
 内 容 生活に役立つ日常会話
 受講者 登録者数 23人 参加者数 延べ265人
 国 籍 インドネシア、タイ、中国、ベトナム

■英会話教室（自主事業）

場 所 二俣協働センター
 講 師 フォーシーズンズ外語学院より派遣

コース	前期	参加者	後期	参加者
初級 (月) 10:00～11:30	4月18日～8月8日 全15回	6人	10月17日～2月13日 全15回	6人
合計 12人				

■協働センターでのふれあいまつり参加（自主事業）

光明ふれあいセンター、二俣協働センターにて開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

③セミナールームの活用（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）(7,195人)

浜松市多文化共生センターのセミナールームをオープンルームとして一般に公開するとともに、講座・セミナー等の事業活動に利用した。
 年間利用者数 7,195人

④多文化共生・国際交流活動支援事業（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）

■多文化共生活動団体への支援及び助言

- ・国際理解教育活動を進める市民グループ（はままつ国際理解教育ネット）の活動支援
 国際理解教育の担い手となる人材育成のための「国際理解教育ファシリテーター養成講座」（対面）の開催を支援。（2回）
 7月10日（日）、7月24日（日）
- ・フェアトレード推進の市民団体「はままつフェアトレードタウンネットワーク」の活動支援
 フェアトレードを推進する浜松市市民団体の定例ミーティング（月1回程度）の開催、フェアトレードマーケットの開催支援。（2回）
 5月21日（土）、11月20日（日）

■多文化共生活動者ネットワーク化事業 「補助金説明会&国際交流・多文化共生情報交換会」

日 時 1月14日（土）14:00～16:00
 会 場 多文化共生センター
 参加者 9団体12人

7. 情報収集・提供事業

①機関紙 HICE NEWS の発行（自主事業）

当協会の活動内容や講座等を掲載。日本語、ポルトガル語、英語の三ヶ国語で発行し、HICE 会員や外国人児童生徒の保護者、外国人学校、協働センター等の公共機関に配布・設置した。

発行部数：日本語版 1,900 部 ポルトガル語版 2,200 部 英語 900 部 合計 5,000 部
発行回数：年 4 回発行

②はままつ多文化共生・国際交流ポータルサイト HAMAPO の運営（市委託：国際課・自主事業）
ホームページアクセス合計数 248,265 件

③Facebook の運用（市委託：国際課・自主事業）

ポルトガル語、日本語・英語 2 言語併記による Facebook を運用。その他、ベトナム語、スペイン語、フィリピン語による「Consultation Hamamatsu」Facebook も別途運用し、多言語による情報提供を行った。

④Instagram の運用（市委託：国際課・自主事業）

HICE の公式アカウント「hice_hamamatsu」を毎週水曜日に 3 投稿のペースで更新した。投稿内容は多文化共生センター事業、外国人学習支援センター事業、HICE 自主事業の 3 種類とし、投稿記事や画像作成は、ターゲットとなる若者当事者（大学院生）が担当した。

⑤HICEinfo メールによる情報配信（自主事業）

会員・ボランティア等に情報を配信。年間 23 回配信。
配信先 3,466 人

⑥情報カウンターの設置（市委託：国際課 「多文化共生センター事業」）（1,863 人）
外国人市民・日本人市民に対し、必要な情報を提供した。コロナ禍で対面での訪問は減少傾向。

延べ提供数	外国人	日本人	合計
	1,102 人	761 人	1,863 人

事業報告の附属明細書

令和 4（2022）年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款 8 条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。